

財政事情

平成27年11月版

市では、「大網白里市財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回(5月と11月)公表しています。今回は、平成26年度決算の概要と、平成27年度上半期(4月～9月)の収支状況、また、平成26年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

図 財政課財政班 (70)0310

平成26年度 会計別決算

会計名	歳入決算額		歳出決算額		
	H26	H25	H26	H25	
一般会計	14,615	14,581	14,011	13,919	
特別会計	国民健康保険	6,125	6,109	6,047	5,948
	後期高齢者医療	411	384	408	383
	土地取得事業	1	1	1	1
	公共下水道事業	1,349	1,910	1,327	1,873
	農業集落排水事業	142	140	135	137
	介護保険	3,579	3,410	3,431	3,348
	介護サービス事業	21	19	20	17
	土地区画整理事業	259	266	204	212
	合計	26,502	26,820	25,584	25,838

※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

区分	決算額	
	H26	H25
ガス事業収益	773	670
ガス事業費用	714	653
資本的収入	16	2
資本的支出	162	114

区分	決算額	
	H26	H25
病院事業収益	2,214	2,255
病院事業費用	2,311	2,238
資本的収入	89	108
資本的支出	144	208

平成26年度は、一般会計と8つの特別会計を合わせた9会計で、歳入決算額265億252万円、歳出決算額255億8,446万円でした。

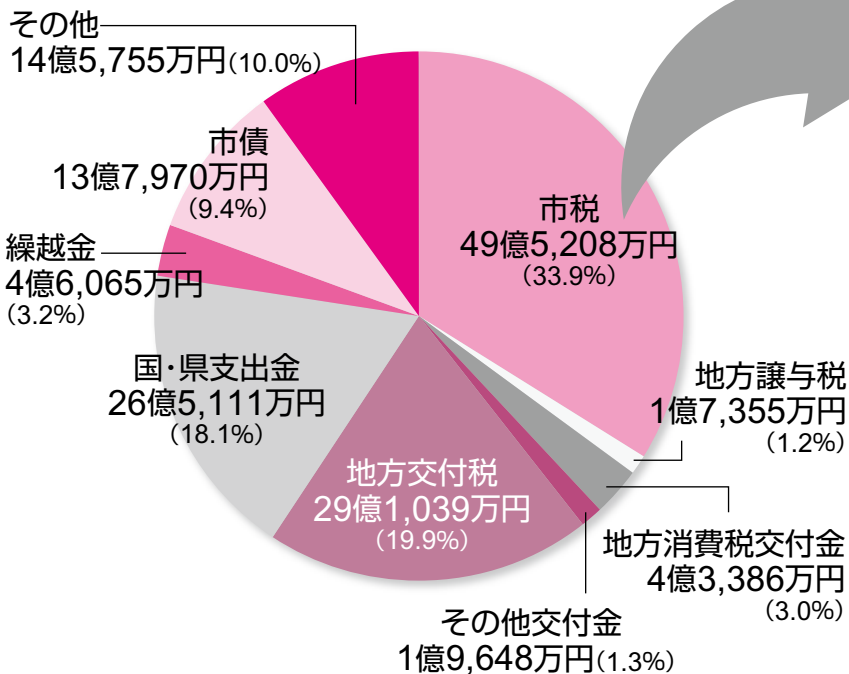
このうち、一般会計の決算額は、生活保護費や児童扶養手当の増加に加え、防災行政無線デジタル化整備事業や庁舎空調整備改修などの事業実施により、平成25年度に比べて増額となっています。また、国民健康保険や介護保険特別会計は、給付費の伸びが続いていることから、前年度と比べ増額となっています。

また、国の補正予算を受けて、平成26年度に前倒して予算計上を行った白里中学校の耐震改修事業の費用など、一般会計をはじめ、3つの特別会計とガス事業会計で、約2億386万円の事業費について平成27年度へ予算の繰越しをしています。

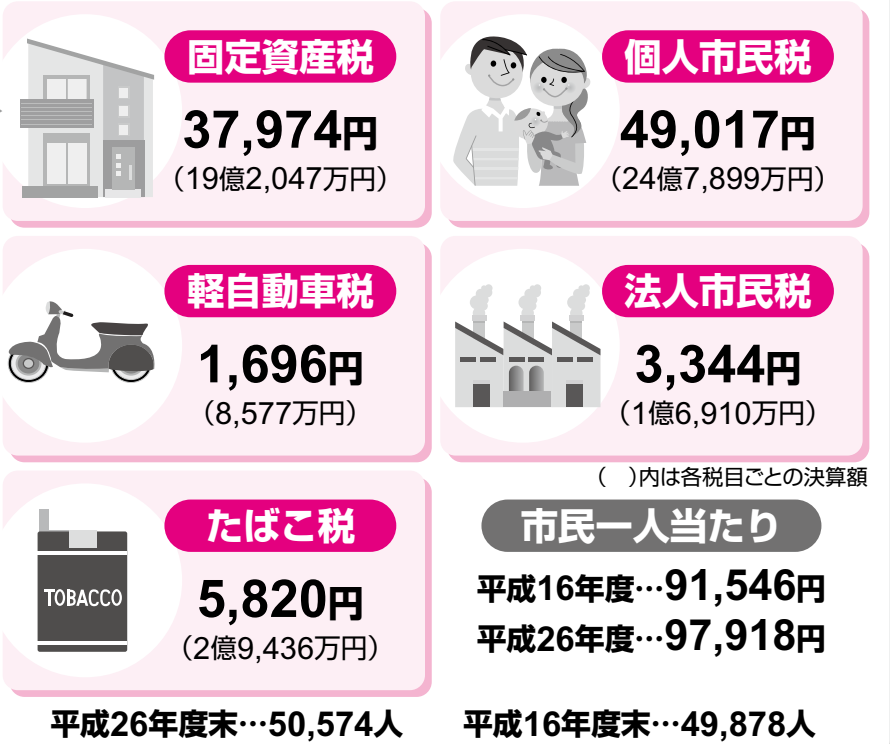
平成26年度 一般会計決算の内訳

一般会計の内訳

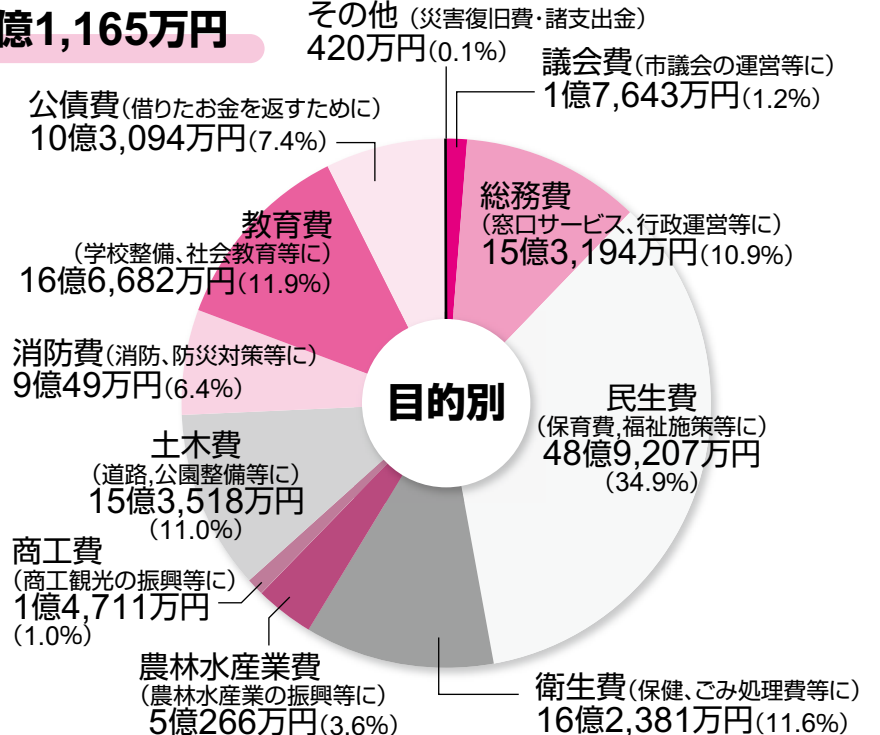
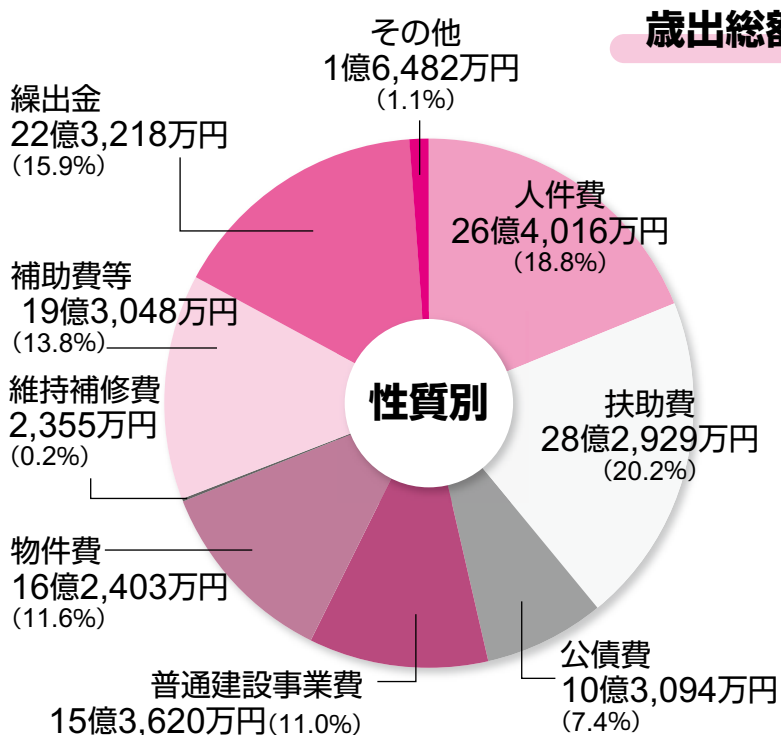
歳入総額 約146億1,537万円



市民1人当たりの市税

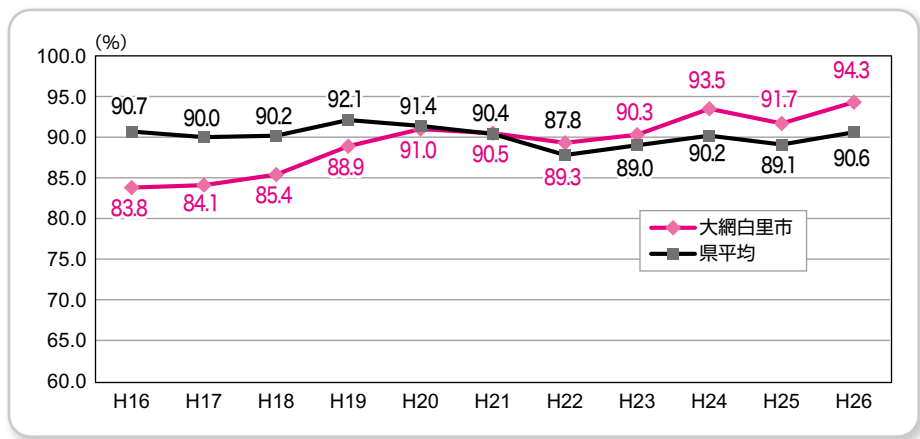


歳出総額 約140億1,165万円



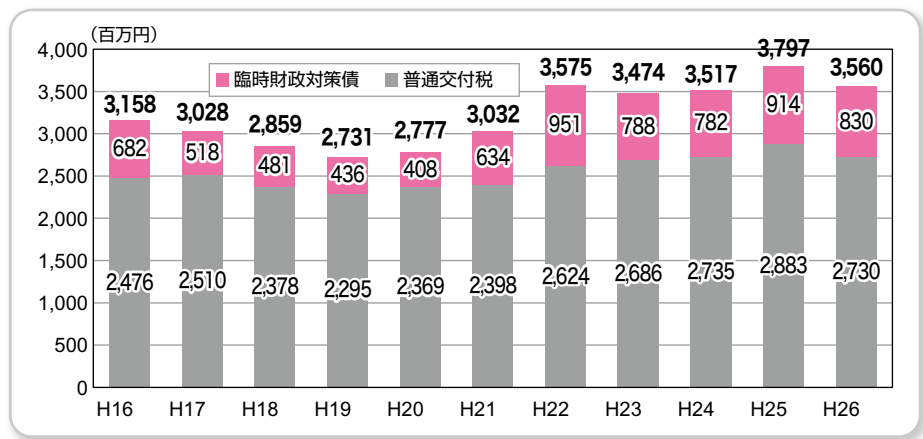
経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。平成26年度は、経常一般財源となる普通交付税や自動車取得税交付金等の減少に伴い、経常収支比率が2.6ポイント増加し、94.3%となりました。



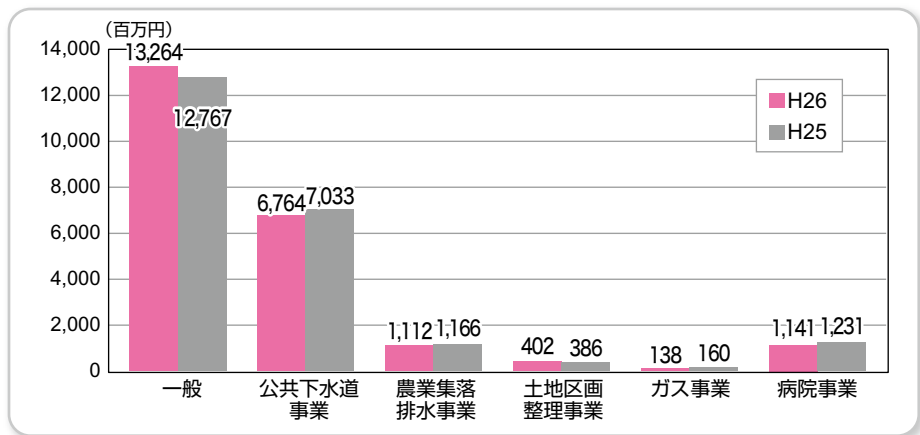
普通交付税等の推移

平成26年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、約35億6千万円となり、普通交付税は約1億5千3百万円の減額、臨時財政対策債も約8千4百万円の減額となりました。



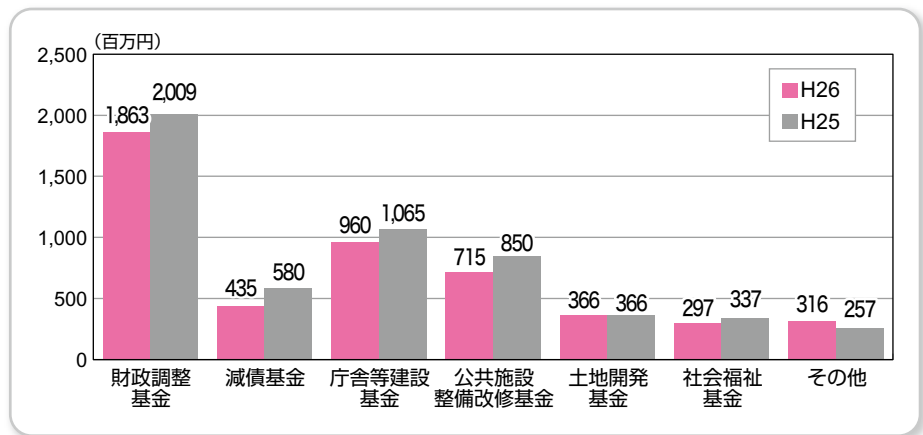
借入金残高の状況(全会計)

平成26年度末の借入金残高は、全会計合計で約228億2千万円となり、前年度と比べ、約7千9百万円の増額となりました。平成26年度の借入額については、小・中学校耐震改修事業や防災行政無線デジタル化事業の完了及び臨時財政対策債の発行により増加となりました。



基金現在高の状況(全会計)

平成26年度末の基金現在高は、約49億5千2百万円です。平成25年度末と比較すると、合計で約5億1千2百万円の減額となりました。



平成27年度一般会計・特別会計上半期収支状況

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
一般	15,487,311	6,662,558	43.0	5,215,694	33.7	
特別会計	国民健康保険	7,071,742	2,070,221	29.3	2,250,859	31.8
	後期高齢者医療	422,347	151,563	35.9	91,460	21.7
	土地取得事業	564	509	90.2	0	0.0
	公共下水道事業	1,419,646	192,742	13.6	500,332	35.2
	農業集落排水事業	145,526	16,016	11.0	63,273	43.5
	介護保険	3,866,800	1,576,913	40.8	1,409,919	36.5
	介護サービス事業	22,010	6,652	30.2	9,128	41.5
	土地区画整理事業	421,869	46,525	11.0	79,513	18.8

平成27年度公営企業の状況(8月31日現在)

●ガス事業

区分	8月	8月末累計
調定数	11,344戸	56,683戸
販売量	335,464m ³	2,686,318m ³
平均使用量	29.6m ³	47.4m ³
平均売上額	2,860円	4,203円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	915,760	257,029	28.1
ガス事業費用	898,649	174,580	19.4

●病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数(8月末累計)
入院	11,797人	77.1人
外来	27,120人	260.8人

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,287,741	723,239	31.6
病院事業費用	2,283,422	770,857	33.8

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成26年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

- (1)実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模(*)に対する比率
- (2)連結実質赤字比率…全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
- (3)実質公債費比率…公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
- (4)将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

*標準財政規模…地方公共団体が通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を表すものです。

また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

平成26年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	
大網白里市比率	- (-)	- (-)	9.2% (10.2%)	69.8% (56.6%)	
参考	早期健全化基準	13.44%	18.44%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-	

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

平成26年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 366,997千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 290,117千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 21,834千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 3,509千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$